

令和2年度 第1回高齢者サービス調整会議 議事録

令和2年4月3日(金)

健康文化センター1階 機能回復訓練室

発 言 者	発 言 内 容	(開会 午後1時30分)
課 長	開会挨拶	
部 長	挨拶	
課 長	<p>本日の会議について、彦田委員、西尾委員、大藪委員、林委員は欠席となります。</p> <p>委嘱状交付(机上に配布)</p> <p>大口町高齢者サービス調整会議設置条例に基づいて新任の委員の方々に委嘱状を交付させていただく。2委員の任期は令和3年3月31日までとなります。新たな本会議の委員の紹介。本日欠席の愛知県江南保健所、高齢者福祉協力員代表から2委員です。</p>	
委 員	挨拶	
課 長	<p>資料確認</p> <p>議題に入る。議事進行は、高齢者サービス調整会議設置条例により、委員長に議長をお願いする。</p>	
委 員 長	<p>開会挨拶</p> <p>議題(1)大口町高齢者ほほえみ計画(第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画)策定スケジュールについて、事務局より説明をお願いする。</p>	
事 務 局	<p>大口町高齢者ほほえみ計画(第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画)策定スケジュールについて、資料No.1に基づき説明。</p> <p>大口町高齢者ほほえみ計画策定スケジュールについて各回の議題、検討内容について説明。</p>	
	(質問なし)	
委 員 長	<p>議題(2) 大口町第8期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定に係る高齢者等実態調査の結果について、事務局より説明をお願いする。</p>	
事 務 局	<p>大口町第8期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定に係る高齢者等実態調査の結果について、資料No.2に基づき説明。</p> <p>一般高齢者80.3%、在宅認定者93.9%と前期と比べて高い回収率だった。一般高齢者調査、在宅認定者調査結果の概要を説明。今後、分析結果を示させていただきながら相談していきたい。エディケーションから本町の特徴、他市町との比較について説明いただく。</p>	
エディケーション	<p>外出する際の移動手段では、町内の交通機関の関係ということもあるが、免許証を返納したとしてもそれに代わる移動手段がないということで、自分で運転する車の率が高い。地域の助け合いや高齢者施策に望むことでは、他地域と比較しても災害時の避難支援・安否確認と回答した率が高い。歯に関する質問では、口腔衛生が体全体に関わるということが住民に浸透している結果であり、町</p>	

	<p>が力を入れて取り組んでいく課題である。在宅認定者調査では、ひとり暮らし認定者はかなり高い率である。また、男性介護者が第6期、7期と比べて増えてきており、情報提供や支援が必要である。資料にはまだないが、介護支援専門員からの課題としては困難事例への対応やスキルアップ、情報収集の時間確保、主治医との連携と回答した方が多かった。</p>
委員長	<p>認知症介護の介護保険などの公的サービスの充実がかなり下がっている要因は。</p>
事務局	<p>ある程度、制度が充実してきて満足して使っている方が多い傾向にあると感じる。</p>
委員長	<p>介護保険制度が始まった当初と比べると、介護報酬が高くなり以前はできたことが、だんだんヘルパーの滞在時間が短くなるなどサービスが制限されてきているが、家族から不満の声とかはあるのか。</p>
委員	<p>ヘルパーでは以前は60分のサービス提供中に少しお話を聞きながらという時間もあったが、話し相手ではないというところで、早く終われば50分でも40分でも帰ってしまう事業所も出てきているので、以前から利用している方や家族から早く帰ってしまうと連絡をいただくことはある。認知症については以前より理解が進んできて、デイサービス利用でもどこの事業所も分け隔てなく上手に対応できるようになっている。</p>
委員長	<p>介護保険制度が改正されてきて、以前から利用している人はもっとやってもらえたがやってもらえなくなり、家族の負担が増えて困っているという人はいないか。</p>
委員	<p>少しずつ制度が変更されてきて、福祉用具では介護度で借りられるものが異なってきたりしているところはあるが、家族での介護の環境は違っているので、負担というものが制度だけで解決されているかという点と違うのかなと感じる。</p>
委員	<p>キーワードはひとり暮らし、ふたり暮らしの高齢者の方をどう支えるか、どの市町も同じだと思う。ふたり暮らしの方のもう片方が亡くなられたときに、ひとり暮らしがスタートするが、外来でフォローさせてもらうあたりを見てみると、特に男性のひとり暮らしでは、食事がどういうごはんを作っているか分からないということがある。サービスということではないが、どういう方法で食事を確保したら良いのかという情報が亡くなった時点から必要な方が多い。最初から包括に相談できるような人は良いが、ひとり暮らしの方として把握した段階から、どのくらいのスパンで行政から情報が発信できるのかという点と、単身者の支え方のスタートの部分が情報提供やいろんな部分で上手にいけるといいのかなと感じている。</p>
委員長	<p>議題(3) 介護予防支援事業所の委託状況について、事務局より説明をお願いします。</p>

地域包括支援 センター	委託先別請求実績について資料No.3に基づき報告。
課長	次回の高齢者サービス調整会議の日程は6月19日（金曜日）でお願いしたい。
委員長	閉会挨拶 (14時34分)